

WindowsNTサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver.5.12R04 → Ver.5.12R05)

2002年9月10日
松下システムソリューションズ(株)

・WindowsNTサーバー版 が Ver.5.12R05 にバージョンアップしました。
変更点は以下のとおりです。

不具合修正

ファイル

up_e140	サムネイル変換のチェックフラグを解除できない不具合を修正しました。
up_e3c0	個人フォルダーの自動作成でフォルダーキーワードを「上位キーワードを継承する」で作成するよう修正しました。
up_e4a3	全文検索を行った場合に異常終了することがある不具合を修正しました。

GlobalFlow

up_fb30	メールインスタンスでは直前者からメール送信されるが、処理履歴では起案者からメール送信されたことになる不具合を修正しました。
up_fb30	保存インスタンスで、更新権があるにも関わらずファイルの書き込みに失敗することがある不具合を修正しました。
up_fb32	処理中の書類に対して、グループ別進捗一覧から強制完了/強制削除を実行した際、書類の完了/削除が正常に行われない不具合を修正しました。
up_f460	プロセス上に存在しないユーザーに帳票URL付きメールを送信した際、受信者がURLをクリックしてログインすると書類を参照できてしまう不具合を修正しました。 (WEBクライアント Ver.2.30R03 以上を導入する必要があります)

オプション

up_2464	メール詳細設定で「代理受信者」または「フォワード先」に認証コード設定済ユーザーを設定している場合、自分の認証コードが未設定であっても「設定済み」と表示されてしまう不具合を修正しました。
---------	--

SMTPゲートウェイ

unixtopios,
piostounix

スプールディレクトリに不要なファイル(lock.* 形式のファイル)が残る不具合を修正しました。